

トピックス

# いばらき・まちづくり講演会を開催しました

茨城県都市計画協会  
茨城県街路事業促進協議会  
茨城県市街地整備推進協議会

令和4年12月1日（木）に、官民連携による持続可能なまちづくりをテーマに、茨城県都市計画協会、街路事業促進協議会及び市街地整備推進協議会の共催で、「いばらき・まちづくり講演会」を開催しました。

急激に進む人口減少、超高齢化社会を踏まえた、持続可能なまちづくりを進めていくため、地域をよく知る地域住民、ボランティア、NPO等と行政が緊密な連携を図りながらまちづくりを進めていくことが重要となっていることから、その共通課題を認識する3団体が臨時的に連携して開催したものです。

## ■ 「まちづくりの意識改革～行政が陥るまちづくりの誤解～」(講師：道路建設課 川上達人係長)

川上係長からは、実務、研修、先進地視察など自身の経験を通して、意識を変えなければいけないと感じた点についてお話しいただきました。

建設系の施策はハード整備中心に考えがちですが、まちづくりの取り組みにあたっては「目的と手段を逆にしなない」「利用者目線、市民目線で考える」「人の行動原理＝その施策により人の動きがどう変わるか、変えるためには何が必要か」「今やろうとしていることが、どのように目標に結びつくのか」などを意識することの重要性について、改めて考える契機となりました。



↑川上達人係長                      ↑西村和也様

## ■ 「市民が参加したくなるまちづくり」(講師：きらきらタウン☆ひたちおおみや実行委員会委員長 西村和也様)

西村様からは、自ら実践している常陸大宮市での官民連携の活動を通じて、具体的な事例を用いながらご講演をいただきました。

官民連携のまちづくりを成功に導く鍵として「共通価値観の醸成」を挙げられ、官と民とが、まちづくりの目的についてどこまで共通認識を持ちながら活動できるか

がポイントであるとのことでした。また、参加者から事前に提出してもらった日頃のまちづくり業務に対する質疑に対して、自らの経験等を踏まえ丁寧に助言をいただきました。

## ■ 「まちづくりと都市再生整備計画関連事業」(講師：関東地方整備局建政部都市整備課技官 伊藤大祿様)

伊藤様からは、ビデオでの出演となりましたが、官民連携のまちづくりに都市再生整備計画関連事業を活用した実施事例として、栃木県真岡市や長野県佐久市等の取り組みを紹介していただきました。国土交通省の補助制度の概要について、また市町村が事業を展開する上で、ハードとソフトの両面からまちづくりを考えていくことについて、理解を深めることができました。



↑伊藤大祿様(ビデオ出演)    ↑鈴木俊治様

## ■ 「ウォーカブルなまちづくりを目指して～官民連携による中心市街地の再生～」(講師：芝浦工業大学システム理工学部教授 鈴木俊治様)

鈴木様からは、“ウォーカブル＝歩いて楽しめる”まちづくりについて、国内、海外の具体事例を交えながら、貴重なご講演をいただきました。

まちを歩く理由は「体験」を楽しむことであり、まちがコミュニケーションの場となり、歩いて暮らせるまちの基盤があって、沿道に目を引く・興味を引くことが備えられていることが重要とのことでした。また、官民連携のキーワードとして「人」を挙げられ、「パートナーとして信頼関係を築き、継続する」ことが成功の鍵であるとのことがありました。

なお、茨城県では、今後も引き続き、各部局が連携して市町村のまちづくりを支援するため、都市計画課内に「集約と連携のまちづくり」の相談窓口を設けておりますので、各市町村の積極的な活用をお願いいたします。

